

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪城公園ほか 3 施設
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	大阪城公園・大阪城野球場・大阪城西の丸庭園・豊松庵の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・受付、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との連絡調整等）
成果指標	大阪城公園利用者への満足度調査結果、大阪城野球場・大阪城西の丸庭園・豊松庵の利用者（件）数、大阪城公園本丸エリアへの来園者数（推計）、大阪城公園への来園者数（推計）、本市への納付金額
数値目標	大阪城公園本丸エリアへの来園者数（推計） 556万人以上 大阪城公園への来園者数（推計） 1,162万人以上 大阪城野球場 年間利用件数 900件以上 大阪城西の丸庭園 年間有料入園者数 220,000人以上 豊松庵 年間利用件数 160件以上 大阪城公園利用者への満足度調査結果 85%以上
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体 【構成員】 大阪城パークマネジメント(株) (株)電通 讀賣テレビ放送(株) 大和ハウス工業(株) 大和リース(株) (株)NTTファシリティーズ
指定期間	平成27年 4 月 1 日 ～ 令和17年 3 月31日
評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	来園者数 （本丸エリア）	来園者数 （大阪城公園）	利用件数 （大阪城野球場）	有料入園者数 （西の丸庭園）	利用件数 （豊松庵）	利用者満足度 （大阪城公園）
数値目標	556万人以上	1,162万人以上	900件以上	220,000人以上	160件以上	85%以上
年度実績	596万人	1,266万人	962件	188,122人	96件	88.7%
達成率	107.2%	109.0%	106.9%	85.5%	60.0%	104.4%

利用状況

大阪城野球場	当年度	前年度	前年度比(差)
利用件数	962件	1,001件	96.1%(▲39件)
稼働率	－	－	－
西の丸庭園	当年度	前年度	前年度比(差)
利用人数	188,122人	188,710人	99.7%(▲588人)
稼働率	－	－	－
豊松庵	当年度	前年度	前年度比(差)
利用件数	96件	139件	69.1%(▲43件)
稼働率	－	－	－

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	589,113,810	530,070,029	32,080,810	訪日外国人旅行者等の来園者の増加に伴う城南バス第 1・第 2 及び森ノ宮駐車場収入等の増加
	計画	557,033,000	513,438,400		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	1,161,437,850	1,088,789,584	99,849,850	訪日外国人旅行者等の来園者の増加に伴う売店、露店、MIRAIZA OSAKA-JO及びJO-TERRACE OSAKAにおける自主事業収入等の増加
	計画	1,061,588,000	905,438,600		
営業外収益	実績	5,264,027	10,983,947	5,264,027	受取補償金、受取違約金及び雑収入等による営業外収益の増加
	計画	0	0		
合計	実績	1,755,815,687	1,629,843,560	137,194,687	
	計画	1,618,621,000	1,418,877,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	373,670,860	353,046,755	8,828,860	訪日外国人旅行者等の来園者の増加及び物価高騰に伴う人件費の増加
	計画	364,842,000	350,495,000		
物件費	実績	115,469,051	113,081,765	▲ 76,310,949	本市との施工調整による補修計画の見直し及び園路不陸補修等の内製化による修繕費等の減少
	計画	191,780,000	149,229,900		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	468,580,931	421,473,720	▲ 26,819,069	MIRAIZA OSAKA-JO及びJO-TERRACE OSAKAにおける諸経費の削減による自主事業支出等の減少
	計画	495,400,000	438,429,100		
営業外費用	実績	5,749,754	896,592	5,749,754	固定資産除却損失及び支払補填金等による営業外費用の増加
	計画	0	0		
合計	実績	963,470,596	888,498,832	▲ 88,551,404	
	計画	1,052,022,000	938,154,000		

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
来園者数（本丸エリア）	107.2%	B	
来園者数（大阪城公園）	109.0%	B	
利用件数（大阪城野球場）	106.9%	B	
有料入園者数（西の丸庭園）	85.5%	C	令和 6 年度の有料入園者数の目標値をインバウンド増を見込んで22万人（令和 5 年度目標値から10%増）と設定したが、4 月から11月までの期間の有料入園数は 3.6%増と思ったほどの増加がみられなかった。 また、12月以降 3 月までは庭園内の迎賓館が本市改修工事のため閉館した影響※ 1 等により有料入園者数が伸び悩んだ。 ※ 1. 前年度における同期間の割合を今年度に換算した場合、8,900人の影響を受けた計算になり、その影響を考慮すれば、達成率は89.6%になる。 $43,256 \text{人} (\text{前年度12月} \sim 3 \text{月有料入園者数}) \div 188,710 \text{人} (\text{前年度総有料入園者数}) \times 188,122 \text{人} (\text{当年度総有料入園者数}) \div 43,121 \text{人}$ $43,121 \text{人} - 34,221 \text{人} (\text{当年度12月} \sim 3 \text{月有料入園者数}) = 8,900 \text{人} (\text{影響人数})$ $(188,122 \text{人} + 8,900 \text{人}) \div 220,000 \text{人} (\text{当年度数値目標}) \div 89.6\%$
利用件数（豊松庵）	60.0%	C	令和 6 年度の利用件数の目標値をインバウンド増を見込んで160件（令和 5 年度目標値から33%増）と設定したが、4 月から11月までの期間の利用件数は11%減という結果になった。 また、12月以降 3 月までは迎賓館の本市改修工事に伴う閉館の影響※ 2 により同館とセットで利用される利用件数が大幅に減少した。 ※ 2. 前年度における同期間の割合を今年度に換算した場合、20件の影響を受けた計算になり、その影響を考慮すれば、達成率は73%になる。 $38 \text{件} (\text{前年度12月} \sim 3 \text{月利用件数}) \div 139 \text{件} (\text{前年度総利用件数}) \times 96 \text{件} (\text{当年度総利用件数}) \div 26 \text{件}$ $26 \text{件} - 6 \text{件} (\text{当年度12月} \sim 3 \text{月入園者数}) = 20 \text{件} (\text{影響件数})$ $(96 \text{件} + 20 \text{件}) \div 160 \text{件} (\text{当年度数値目標}) \div 72.5\%$
利用者満足度（大阪城公園）	104.4%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・簡易な補修・修繕については、園路不陸補修等内製化により、早期復旧及び費用削減を図っていた。 ・公園灯や公園トイレの照明点灯時間の適正化を図り、省エネ化を推進していた。 ・基本納付金に加えて、計画以上の変動納付金を本市に収めていた。	A	変動納付金あり

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・関係法令及び各施設の維持管理の水準を遵守し、年間・月間維持管理計画に基づき実施していた。 ・公園施設の日常点検について、仕様書では年 4 回のところ、年 16 回実施するなど、来園者の安全確保のため、不具合箇所の早期発見及び早期解消に努めていた。 ・マツ、サクラ、ウメ、モモ等の植栽管理に当たっては、著名な造園家を講師に招き、作業者の更なる技術向上に努め、景観のレベルアップを図っていた。 ・森ノ宮旧せせらぎ中央部分に花壇を増設し、四季折々の景観の演出を図っていた。 ・クビアカツヤカミキリ対策として、西の丸庭園標本木及び周辺の 25 本のソメイヨシノに対し、予防薬剤の樹幹注入を行っていた。
事業計画の実施状況	A	・MIRAIZA OSAKA-JOにおいては、「生きた建築フェスティバル2024」にエントリーし、近代建築の魅力を発信していた。 - また、入館数は、完全にコロナ禍から脱却・回復し、各店舗は訪日外国人旅行者の高い需要を支えられ、過去最高の売上を達成していた。 ・大阪迎賓館においては、開業当初は予約専用レストランとしてスタートしたが、現在はレストラン目的以外の会議、レセプション等にも門戸を広げており、ユニークベニュー（歴史的建造物や文化施設で会議等を開催することで日本らしい情緒を味わうことのできる会場）としての魅力を発信していた。 - また、豊松庵においても、大阪迎賓館の利用者へのお茶の提供や訪日外国人旅行者向けのお茶会体験を実施する等、利用機会の創出を図っていた。 ・城南バス第 1 駐車場及び第 2 駐車場においては、訪日外国人旅行者の高い需要に支えられ、過去最高の売上を達成していた。 - また、森ノ宮駐車場においても、前年度に改修工事を行い、駐車台数を 100 台から 143 台へ増台したことによる効果が現れ、過去最高の売上を達成していた。 ・各施設においては、案内サインやパンフレット、案内スタッフにおける多言語対応等、インフォメーション機能の向上を図っていた。 ・ボランティアガイドの方々と連携し、梅林内に設置している案内板に 105 品種の梅の位置情報（QRコード）を掲載し、来園者に「梅見」を楽しんでいただく等、ホームページやSNSによる情報発信も積極的に行っていた。
施設の有効利用	B	・MIRAIZA OSAKA-JOの玄関口には、天守閣やJO-TERRACE OSAKA、大阪城パークセンターと情報共有し、大阪観光情報を含めた幅広い情報を集約したインフォメーションを設置しており、「旅のコンシェルジュ」としての役割を活かしながら、園内の回遊性の向上を図っていた。 - また、同施設 1 階南側には大阪城公園の歴史を解説した展示エリアを設けて、本丸エリアを訪れる来園者に対し、歴史公園としての魅力を発信していた。 ・「大阪城音楽堂フェス」では、新しい試みとして訪日外国人旅行者向けに和太鼓を楽しんでいただくイベントを行う等、大阪城音楽堂と公園とが一体化した取組みを行っていた。 ・大阪ビジネスパークのOBP協議会や森ノ宮周辺施設、住民とのコミュニケーションの場であるプラットフォーム「もりのみやって」においては、定例会議等で情報共有を行い、相互のイベントへの参加や連携を図っていた。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

社会的責任・市の施策との整合性	B	・個人情報保護法等に準拠し、適正な管理を実施していた。 ・国内外からの多くの来園者が来られる公園としての特性を踏まえ、ダイバーシティの観点による人権研修を年2回実施する等、全職員への自己啓発を促していた。 ・剪定枝や落ち葉のチップ（活性堆肥）化等、資源のリサイクルに取り組んでいた。 ・東外堀における清掃活動等、市民の方々と企業におけるCSR活動と一体となって公園美化の推進を図っていた。
-----------------	---	--

4-2 魅力向上事業の達成状況

・「謎解きゲーム」、「観桜ナイター2024」、「御座船」、「令和6年重要文化財大阪城の櫓YAGURA特別公開」（多聞櫓・千貫櫓・乾櫓）、「大阪城森のバーベキュー」、「大阪城イルミネージュ2024」、「クラフト餃子フェスOSAKA2024」、「やきいもフェス」等の継続的なイベントの開催に加えて、「東大番衆小屋跡お花見イベント」を始めとした新規イベントも開催し、賑わいを創出していた。

・JO-TERRACE OSAKAにおいては、24店舗（空き区画1）で営業しており、未就学児を主な対象とした噴水バレットによる水遊びイベントを開催していた。

・COOL JAPAN PARK OSAKAにおいては、「CLUB THE OSHI☆OSHI」等の公演を開催するとともに、フリーWi-Fi利用可能エリアの拡充や公式ホームページにおける多言語対応等、訪日外国人旅行者対策を講じていた。

・園内交通システム（ロードトレイン（3台）及びエレクトリックカー（5台））においては、訪日外国人旅行者等の増加に応じて、適宜、増便及び増配を実施しているが、令和6年10月にはロードトレインの運転中に運転手の顔に虫が飛来してきたことによってハンドル操作を誤り、電柱と接触した事故が発生していた。

なお、現在は、車両用網戸の設置、運営マニュアルの改訂、殺虫剤の配備、箒及び雑巾の常備等、再発防止策を講じた上で運転を再開している。

・地元来園者の多い森ノ宮噴水エリアにおいては、全ての店舗（ローソン、アールペイカー、スターバックス、ポーネルンドプレイヴィル）において売上・客数とも好調であった。

5 利用者ニーズ・満足度等

令和6年10月25日（金）から27日（日）にかけて満足度調査を実施した。

「本日、大阪城公園にご来園されての満足度を教えてください」との設問に対し、非常に満足・まあまあ満足・普通・あまり満足でない・不満足の5段階評価を行った結果、2,312名の回答を得ることができ、その内、非常に満足（45.0％）・まあまあ満足（43.7％）の回答が88.7％を占めた。

6 外部専門家意見

<大阪城公園パークマネジメント事業共通>

・国において訪日外国人旅行者数の増加目標が掲げられている中、各施設において、さらなる来園者の増加に伴う混雑緩和や満足度向上が課題となることを見据え、魅力的なナイトコンテンツ及び閑散期における恒例イベントの実施による時間・時期的分散並びに公園施設全体の魅力向上によるエリア内の分散化を図り、国際的な観光地と“市民が誇れる観光地”をめざしてほしい。

・収支計画と実績の乖離について、次年度の計画策定時に実績に即した精緻な計画を立て、乖離の縮小に努めてほしい。

<大阪城公園ほか3施設>

・市費の縮減に係る取組状況については、基本納付金に加えて、変動納付金を納める成果を出しており、非常に評価できる。

・来園者数については、コロナ禍以前のレベル以上に回復している。それに応じて、国際的な観光地として訪日外国人旅行者に対する多言語対応や、インフォメーション機能の向上など、受け入れ態勢の改善に尽力している点が高く評価できる。

・城南バス第1・第2駐車場及び森ノ宮駐車場については、訪日外国人旅行者の高い需要に支えられ、過去最高の売上を達成するとともに駐車台数を増台した。結果として派生している渋滞に対しても、適切な対策を講じている。

・魅力向上事業を進めるに当たっては、夕方から夜にかけて森ノ宮噴水広場周辺をライトアップを行う等、「ナイトカルチャー」に関わる事業を検討し、夜の公園としての新たな魅力創出を検討されたい。

・西の丸庭園や豊松庵への訪日外国人旅行者を呼び込むための仕掛けや需要喚起、サインの工夫等、検討されたい。

・大阪城野球場及び豊松庵における満足度調査を行うに当たっては、回答者数の確保に向け、調査方法を工夫する等、改善されたい。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・成果指標に係る数値目標を上回っていることから評価できる。 なお、有料入園者数（西の丸庭園）及び利用件数（豊松庵）については、迎賓館の本市改修工事のため閉館しているため、一定考慮するものとする。
市費の縮減	A	・市費の縮減に係る取組状況については、基本納付金に加えて、変動納付金を納めており、非常に評価できる。
管理運営の履行状況	B+	・クビアカツヤカミキリ対策として、西の丸庭園標本木及び周辺の25本のソメイヨシノに対し、予防薬剤の樹幹注入を行っており、評価できる。 ・来園者数については、コロナ禍以前のレベル以上に回復しており、国際的な観光地として訪日外国人旅行者に対する多言語対応や、インフォメーション機能の向上を図る等、高く評価できる。 ・城南バス第1・第2駐車場及び森ノ宮駐車場については、訪日外国人旅行者の高い需要に支えられ、過去最高の売上を達成するとともに駐車台数を増台し、渋滞対策を講じる等、高く評価できる。 ・「大阪城音楽堂フェス」では、新しい試みとして訪日外国人旅行者向けに和太鼓を楽しんでいただくイベントを行う等、大阪城音楽堂と公園とが一体化した取組みを行っており、評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	・事業計画及び本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた。